

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	育英短期大学
設置者名	群馬育英学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育学科	夜・通信			7	7	7	
	現代コミュニケーション学科	夜・通信			7	7	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

短期大学 HP に PDF で掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/pdf/3ce82139a5594199d2fba58415c4dd001a3dc0db.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	育英短期大学
設置者名	群馬育英学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園 HP 学園の概要・役員紹介・役員一覧に PDF で掲載
<https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/guide/officer.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	上毛資源㈱取締役会長	2025.6.1～ 4年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議委 員会の終結 の時まで	法務
非常勤	福島産業㈱代表取締役	2025.6.1～ 4年以内に 終了する会 計年度のう ち最終のも のに関する 定時評議委 員会の終結 の時まで	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	育英短期大学
設置者名	群馬育英学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画(シラバス)の内容 講義科目名称/英文科目名称/授業コード/開講期間/配当年/単位数/担当教員/科目必選区分/授業形態/日程/授業計画/この科目のテーマと授業の概要/この科目を履修する学生が達成すべき学修成果/教科書/参考書、指定図書、資料など/成績評価方法/事前・事後学習/履修上の注意/担当教員実務経験/ディプロマ・ポリシーとの関連/フィードバック方法等/アクティブ・ラーニング ・ 授業計画(シラバス)の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> ① シラバス作成の留意事項(作成要領)に基づき、科目担当全員に依頼 ② 科目担当がシラバスを作成(Web シラバスシステム) ③ 担当教員以外の第三者(教務委員)がシラバス記載内容の適正について、「シラバス内容確認項目」に則り確認 ④ シラバス修正 ⑤ Web シラバスシステムにて公表 ・ 授業計画に作成：12月上旬～2月下旬 ・ 公表時期：4月 	
授業計画書の公表方法	<p>短期大学 HP に掲載 https://inside.ikuei-g.ac.jp/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EJ&opi=mt0010</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況

各科目における履修者の学修成果を、シラバスで明示してある科目を履修する学生が達成すべき学修成果及び成績評価方法に基づき、科目担当教員が総合的に勘案して評価することで、厳格かつ適正に単位を授与している。

学修成果に係る成績評価は、定期試験、小テスト、レポート、課題、実技、平素の成績及びその他の方法と評価配分を明示し行っている。

科目の1単位にあたり必要な学習時間(45時間)を確保することで単位の実質化を図るとともに、各年次にわたって適切に履修することで学修の質を向上させることを目的に履修単位の上限を設けている。

履修登録完了後に、授業を受講したものの「授業内容が学びたい内容と違っていた」等の理由から各学期に定められた期日内に履修を取り消す制度を設けて、履修中であっても履修計画及び単位修得の見直しを可能としている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・GPA等の客観的な指標の具体的な内容

成績評価	S	A	B	C	D
評価点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

1. 学期 GPA = (当該学期に評価を受けた授業科目の GP × 当該科目の
単位数) の総和 / 当該学期に評価を受けた授業科目の総単位数

2. 通算 GPA = (在学全期間に評価を受けた授業科目の GP × 当該科目の単位数)
の総和 / 在学全期間に評価を受けた授業科目の総単位数

・客観的な指標の適切な実施状況

成績の分布(GPAの数値の分布)状況を示す資料を基に全体的な学修成果を把握し、学生の学修への意欲の増進や履修指導の促進を行う。また、GPAが一定の値に達しない学生に対しては、ゼミ担任より必要な学修支援を行っている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

短期大学 HP に PDF で掲載

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/pdf/542918b0309dfb1a8cb09bbbede7995ec7ceal8e.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

[保育学科]

「卒業要件」を満たし、以下の4つの【学修目標】を達成したことを以て、短期大学士(保育学)の学位を授与する。あわせて、幼稚園教諭2種免許状及び保育士資格を卒業時に取得するためには、本学科が別に定める「免許・資格要件」を、さらに満たさなければならない。

【学修目標】

- ①建学の精神が掲げる道德理念を踏まえた社会人たるに相応しい倫理観、責任感と自己管理能力を備えている。
- ②現代社会にかかるさまざまな事象をとらえる国際的かつ複眼的な視野、そして他者と円滑にコミュニケーションをはかる能力を兼ね備えている。
- ③保育者としての強い使命感と教育的愛情をもち、行動で示すことができる。
- ④多様な子どもを理解し、その心身の発達と育ちを支援するための専門的知識及び技能を十分に兼ね備えており、保育者として現場で実践に活かすことができる。

本学科として学位授与を受けてこれらの免許・資格を取得する学生に期待する学修成果は、別に定める(シラバス)【達成すべき学修成果】の通りである。なお、成績評価及び単位認定にあたっては、教育目的や各授業の教育目標に基づいて、達成度を厳正に評価する。

[現代コミュニケーション学科]

「公正・純真・奉仕・友愛」の道德理念を培い、つねに国際的視野に立って世界の平和と社会の福祉に貢献できる人材を育成することを使命とする建学の理念に基づき、実社会の多様な分野で活躍し、コミュニケーションを実践する人材を養成するため、以下の卒業認定・単位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定める。

【学修目標】

- ①社会に求められる基礎的な教養を修得し、幅広い職業人として役割を果たすことができる。
- ②コミュニケーションについての基礎的な理論に基づく知識と問題解決能力、キャリアについての知識及び能力を修得し、主体的に判断して行動することができる。
- ③社会に必要なコミュニケーションにかかわる専門的知識及び技能を修得し、実社会の多様な分野でコミュニケーションを実践することができる。

・卒業の認定に関する方針の適切な状況

学則第26条に基づき、卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数等により、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

短期大学 HP に掲載

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	育英短期大学
設置者名	群馬育英学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園 HP 学園の情報、財務状況に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/info/finance.html
収支計算書又は損益計算書	学園 HP 学園の情報、財務状況に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/info/finance.html
財産目録	学園 HP 学園の情報、財務状況に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/info/finance.html
事業報告書	学園 HP 学園の情報、事業計画・報告に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/info/plan.html
監事による監査報告(書)	学園 HP 学園の情報、財務状況に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/gunmaikuei/info/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 短期大学 HP に掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/selfcheck.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科 現代コミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法：短期大学 HP に掲載） https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/aboutus.html
(概要) ・ 研究上の目的 〔保育学科〕 保育学科は、子どもたちの健全な心身の発達を支援するために必要な専門知識と実践力を兼ね備えた人間性豊かな専門的職業人の養成に資する教育研究を行う。 〔現代コミュニケーション学科〕 現代コミュニケーション学科は、グローバルでローカルな視野とコミュニケーション能力を備え、実社会の多様な分野で活躍できる人材の養成に資する教育研究を行う。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：短期大学 HP に掲載） https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/policy.html
(概要) ・ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) 〔保育学科〕 「卒業要件」を満たし、以下の 4 つの【学修目標】を達成したことを以て、短期大学士（保育学）の学位を授与する。あわせて、幼稚園教諭 2 種免許状および保育士資格を卒業時に取得するためには、本学科が別に定める「免許・資格要件」を、さらに満たさなければならない。 【学修目標】 ①建学の精神が掲げる道徳理念を踏まえた社会人たるに相応しい倫理観、責任感と自己管理能力を備えている。 ②現代社会にかかるさまざまな事象をとらえる国際的かつ複眼的な視野、そして他者と円滑にコミュニケーションをはかる能力を兼ね備えている。 ③保育者としての強い使命感と教育的愛情をもち、行動で示すことができる。 ④多様な子どもを理解し、その心身の発達と育ちを支援するための専門的知識および技能を十分に兼ね備えており、保育者として現場で実践に活かすことができる。 本学科として学位授与を受けてこれらの免許・資格を取得する学生に期待する学修成果は、別に定める(シラバス)【達成すべき学修成果】の通りである。なお、成績評価および単位認定にあたっては、教育目的や各授業の教育目標に基づいて、達成度を厳正に評価する。 〔現代コミュニケーション学科〕 「公正・純真・奉仕・友愛」の道徳理念を培い、つねに国際的視野に立って世界の平和と社会の福祉に貢献できる人材を育成することを使命とする建学の理念に基づき、実社会の多様な分野で活躍し、コミュニケーションを実践する人材を養成するため、以下の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定める。

【学修目標】

- ①社会に求められる基礎的な教養を修得し、幅広い職業人として役割を果たすことができる。
- ②コミュニケーションについての基礎的な理論に基づく知識と問題解決能力、キャリアについての知識及び能力を修得し、主体的に判断して行動することができる。
- ③社会に必要なコミュニケーションにかかわる専門的知識及び技能を修得し、実社会の多様な分野でコミュニケーションを実践することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：短期大学 HP に掲載）

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/policy.html>

（概要）

・教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

〔保育学科〕

学則に定められている保育学科の「教育ならびに人材育成の目的」や「学位授与の方針」などの規程を踏まえて、保育学科では、以下のように科目を区分した教育課程を編成している。

1. 「基礎科目」：教養と健康増進のための知識と技術を身につけるための科目。
2. 「専門教育科目」：保育者としての専門的な資質能力を身につけるための科目。さらに以下の a～f に分かれる。
 - a) 「基礎演習科目」：建学の精神と、社会人としてのマナーや言葉の使い方など、保育者としての基礎的な知識・技能・態度を身につける科目。
 - b) 「本質・目的に関する科目」：保育・幼児教育を何のためにするのか、そしてどのような考え方で行うものなのか、保育者としての視点を養うための科目。
 - c) 「対象の理解に関する科目」：保育・幼児教育の対象となる子どもや保護者などを理解するための考え方や方法を身につけるための科目。
 - d) 「内容・方法に関する科目」：保育・幼児教育を実践するための内容や方法を身につけるための科目。
 - e) 「発展科目」：保育者としての職務の幅を更に広げる科目
 - f) 「実習・演習科目」：保育者としての現場での実践的指導力を養いつつ、自分の保育者としての適性や保育者になる意思を自ら確認するための科目。
3. 「自由科目」：上記の他に、学生の学修の選択肢に含める意義のある科目。

〔現代コミュニケーション学科〕

現代コミュニケーション学科は、教育研究上の目的や養成する人材、ディプロマ・ポリシーなどの趣旨を実現するために、教育課程「基礎科目」と「専門教育科目」、「教職科目」、「自由科目」の科目区分に分け、以下の教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）を定める。

- ①社会に求められる基礎的な教養を修得させるために「基礎科目」を設置し、幅広い職業人として役割を果たすことができるように教育する。
- ②コミュニケーションについての基礎的な理論に基づく知識と問題解決能力、キャリアについての知識及び能力を修得させるために「専門教育科目」の中に「学科必修科目」を設置し、主体的に判断して行動することができるように教育する。
- ③社会に必要なコミュニケーションにかかわる専門的知識及び技能を修得させるために「専門教育科目」の中に「選択科目」を設置し、実社会の多様な分野でコミュニケーションを実践することができるように教育する。
- ④学修意欲や卒業後の進路に応じた知識及び技能を修得させるために「教職科目」と「自由科目」を設置し、コミュニケーションを応用することができるように教育する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：短期大学 HP に掲載）

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/policy.html>

（概要）

〔保育学科の求める学生像〕

幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設などで子どもたちの成長を支援する人材の養成を目的としています。これを踏まえて、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度とともに、以下の資質を有する人を求める。

- ① 幼児教育・保育・児童福祉に携わる仕事に就く意志のある人
- ② 深い愛情を持って子どもの成長を支援するやさしさがある人
- ③ 子どもや保護者を取り巻く社会の状況に関心を持ち、問題を深く探究する姿勢がある人
- ④ 自己の目標実現のため、日々学習し成長しようとする意欲がある人
- ⑤ 高等学校までの範囲の基礎的な学力を有している人

〔現代コミュニケーション学科の求める学生像〕

実社会の多様な分野で求められる実務能力と問題解決に不可欠なコミュニケーション能力を備えた人材の養成を目指します。学科で開設されているコースの各分野に関心を持ち、以下のような興味・関心、能力、素質を備えた人を求める。

- ① 十分な知識や技能を有し、社会への関心を持ってその問題を深く探求しようとする人
- ② 問題を解決するための思考力や判断力、表現力を有し自ら判断して行動しようとする人
- ③ 主体性を持って多様な人々と協働する態度を有し、実社会の多様な分野でそれを実践しようとする人

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：短期大学 HP に掲載

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/teacher.html>

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
保育学科	—	5人	5人	3人	0人	0人	13人
現代コミュニケーション学科	—	3人	3人	0人	0人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		6人				6人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：短大 HP 両学科教員紹介ページに掲載 https://www.ikuei-g.ac.jp/college/department/hoiku/teacher/ https://www.ikuei-g.ac.jp/college/department/gencomi/teacher/index.html					

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	170人	153人	90.0%	340人	302人	88.8%	人	0人
現代コミュニケーション学科	70人	61人	87.1%	140人	117人	83.5%	人	0人
合計	240人	214人	89.1%	480人	419人	87.2%	人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	155人 (100%)	3人 (1.9%)	141人 (91.0%)	11人 (7.1%)
現代コミュニケーション学科	54人 (100%)	8人 (14.8%)	41人 (75.9%)	5人 (9.3%)
合計	209人 (100%)	11人 (5.3%)	182人 (87.1%)	16人 (7.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画の作成・公表 各学科の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)の見直しについては、5月から7月に行い、時間割、学事日程(年間行事)の作成については、12月上旬から2月下旬に行い、4月に公表している。 ・シラバスの作成・公表 各専攻のシラバスの作成及び第三者による記載内容の確認については、12月から2月下旬に行い、4月に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<ul style="list-style-type: none"> ・取得可能学位 保育学科：短期大学士(保育学), 修業年限2年 現代コミュニケーション学科(コミュニケーション学), 修業年限2年 ・成績評価基準 評点は100点満点とし、60点以上を合格とし、成績評価基準は当該科目を履修する学生が達成すべき学修成果に照らして、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) S (90～100点) 極めて優秀な成績で修めている (2) A (80～89点) 優れた成績で修めている (3) B (70～79点) 標準的な成績である (4) C (60～69点) 最低限度の成績で修めている (5) D (59点以下) 最低限の成績を修めている 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62単位	有・無	単位
	現代コミュニケーション 学科	62単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：短期大学 HP に掲載
<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/facility.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	610,000 円	250,000 円	370,000 円	教育振興費
	現代コミュニケーション学科	610,000 円	250,000 円	370,000 円	教育振興費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任制 担任制を導入し、学生からの質問、相談について個別の指導を行う体制を整備している。 ・ オリエンテーション、ガイダンス 入学時及び年度開始ごとにオリエンテーション、履修ガイダンスを実施し、学修に関する事項について周知している。 ・ オフィスアワー制度 オフィスアワー制度を取り入れて、各科目担当が個々の学生に応じた相談や対応ができる体制を整備している。オフィスアワーのスケジュールは、電子メール、掲示等で告知される。 ・ GPA 制度 GPA 制度を導入し、厳格かつ適正な成績管理及び単位認定に努めている。GPA が一定の値に達しない学生については、個々に学修支援を行う。 ・ 奨学金の支給制度 学業成績優秀者で人物に優れ、他の学生の模範となる学生と認められる者を、奨学生として表彰し、奨学金を支給している。 ・ 経済的理由に基づく授業料減免制度 修学意欲を持ちながらも経済的な理由により、学納金の支払が難しい学生を対象に修学継続のための経済的支援を行っている。 ・ 特待生制度 特待生入学試験において特待生合格による入学者は、入試成績に応じて授業料を免除している。

- ・日本学生支援機構奨学金の取り扱いによる学資貸与の支援
人物・学力とも優秀で、経済的事情により就学困難な学生に対し選考の上、学資を貸与する支援を行っている。
- ・海外研修プログラム助成金制度（現代コミュニケーション学科）
10週間留学プログラムには20万円、4週間留学プログラムには8万円の助成を行い留学希望者への支援を行っている。
- ・学内ワークスタディ制度
本学の教育研究活動、広報活動等への補助業務による学生への経済的支援を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

〔保育学科〕

- ① キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡを必修科目として開講し、実習、進路選択、キャリアアップについて助言・指導を行っている。2年次ではキャリアデザインⅢにおいて、特別講座を定期的の開講し、実習指導、自己分析、適性評価、進路選択、履歴書作成、就職活動、筆記試験対策、面接試験対策などを指導している。
- ② 少人数制のゼミナール「専門ゼミ」を必修科目としており、ゼミ担任を通じて個別の助言・指導を行っている。
- ③ 図書館では、学生の進路支援として、「就職・教職コーナー」を設けている。
- ④ 求人情報については、学生は育英短期大学 HP よりその内容を常時閲覧できる体制を整えサポートしている。
- ⑤ 進学支援では、キャリアサポート室において、4年制大学への編入学支援についてきめ細かいサポートを行っている。

〔現代コミュニケーション学科〕

- ① キャリアプランニング授業を軸としたサポート体制により就職支援を行っている。通年の必修科目として開講し、自己分析、企業研究、個人面談、就職活動体験談、外部講師講演、入社試験対策などを通し、就職意識や就活意欲を高める指導をしている。
- ② 1泊2日の就職勉強会「就職セミナー」を開催し、本格的に始まる就職活動に備えて、実践的な面接テクニックを習得する体制を整えている。
- ③ 資格取得・試験対策プログラムを実施している。
国内旅行業務取扱管理者試験対策講座、登録販売者試験対策、編入学対策講座、TOEIC対策講座、秘書検定試験対策、日商PC検定試験対策などを実施している。
- ④ キャリアサポート室では、キャリアカウンセラーにより、個々の特性に合わせた支援を行っている。
- ⑤ 図書館では、学生の進路支援として、「就職・教職コーナー」を設けている。

求人情報については、学生は育英短期大学 HP よりその内容を常時閲覧できる体制を整えサポートしている。進学支援では、キャリアサポート室において、4年制大学への編入学支援についてきめ細かいサポートを行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ・保健室では、日常的な学生の健康管理を担当している。
- ・定期健康診断を毎年4月に実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：短期大学 HP に掲載

<https://www.ikuei-g.ac.jp/college/guide/info/teacher.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F210310101923
学校名 (〇〇大学 等)	育英短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	群馬育英学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		50人（－）人	49人（－）人	56人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	32人	25人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅱ区分	－	16人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
区分外（多子世帯）	0人	0人		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				56人（ 0 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	—	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	人	—	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	人	—	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
定の給付の効力の停止を認													
た告限													
この処													
と分よ													
り受け													
訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓
右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半
(備考)	(備考)	(備考)	(備考)	計	(備考)	(備考)	(備考)	計	(備考)	(備考)	計	(備考)	(備考)
0	人	人	人	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0

